

### 第三者評価結果（共通項目）

#### 福祉サービス第三者評価基準【共通版】

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	◎・b・c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 保育理念は明文化され、それが保育案内、広報誌、掲示物などに反映されている。今後は更にその内容を、「分かりやすく具体的な表現」も検討され、より整合性のあるものを期待する。</p>		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	◎・b・c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 理念や基本方針は玄関や保育室等に掲示され、保育案内にも記載されている。職員には入社前に2週間の徹底した新人教育で周知を図り、また年1回の職員面談時にも周知を図っている。利用者には入園説明会で触れ、2ヶ月に1回の広報誌で地域へ発信されている。</p> <p>今後、案内パンフレットにて、実際の保育と整合性のある具体的でわかりやすい理念の表現を期待する。</p>		

##### I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	◎・b・c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 策定されている。各年度の事業計画にも反映されている。職員の人員や設備関係については、中・長期計画に策定され、年次計画に反映して実行されている。</p> <p>今後は保育内容や人材育成の職員研修に関して、具体的計画策定を期待する。</p>		

I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	a・㊟・c
I-2-(2)-②	計画が職員や利用者に周知されている。	a・㊟・c
<p><b>評価概要</b> 職員の職員会議での保育や設備に関する「意見や要望」は、中・長期計画や年度計画にも反映されている。今後は、職員が参画した組織的検討で具体的計画を策定し、評価見直しも組織的に行われ、それが事業計画に反映されることが望まれる。</p> <p>また利用者への周知は、入園式の説明会だけでなく、もっと広く周知を図る工夫が望まれる。</p>		

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	㊟・b・c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・㊟・c
<p><b>評価概要</b> 管理者の責任は組織図の「職務分掌」において明確になっている。それは職員会議において明確に示しているとのことであるが、今後は職員の職務分掌をそれぞれに機能させる中で、更に管理者の役割と責任を明確になることが望まれる。</p> <p>管理者は、利用者や職員に対する施設の守るべき法令や倫理をただ《知っておく》だけでなく、みずから《よって立つ基盤》と自覚した確固たるコンプライアンスが重要である。その上で職員へのコンプライアンスの重要性を周知する具体的取り組みを期待する。</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	㊟・b・c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a・㊟・c
<p><b>評価概要</b> 管理者の法人本部の意向を伝えるリーダーシップは、職員会議等で適切に発揮されている。</p> <p>今後は更に、「職務分掌に基づく組織内体制の活動強化」による業務の効率化と改善への指導力が望まれる。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	◎・b・c
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a・◎・c
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	a・b・◎
<p><b>評価概要</b> 経営環境を把握するために、経営責任者はみずから地域に出向いて情報収集を行い経営改善に取り組んでいる。</p> <p>今後は更に、職員も参画した組織的データ収集も行い、中・長期計画に反映されることが望まれる。</p>	

### Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	◎・b・c
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 人事管理に関するマニュアルは整備されている。面談を年1回実施し、それは本人評価も取り入れた人事考課制度になっているが、その制度が職員によく周知され運用されているかは確認しづらかった。今後は更に人事考課制度の客観性、公平性、透明性を確保する努力と人材育成の観点からの運用強化も望まれる。</p>	
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	◎・b・c
Ⅱ-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 本人の申請に応じた有休取得がなされている。今後更に職員の意見・意向を取り入れ、担当部署の機能を活かして、書類上はあっても実際はあいまいな休憩室の確保など、よりよい職場環境の整備を期待したい。職員の慰安旅行や親睦会等に法人が適宜支援を行っている。</p>	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。		㊟・b・c
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		a・㊟・c
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		a・㊟・c
<p><b>評価概要</b> 新人教育プログラムに基づいて各種のマニュアルを含む職員教育を行っている。今後、コンプライアンスに留意して、個別職員の経験や力量を踏まえた研修計画を策定実施し、研修成果に基づいて、組織的な見直しによる次の研修計画策定が期待される。</p>		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		㊟・b・c
II-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> 「実習生受け入れマニュアル」を作成し、積極的な受け入れ体制をとられている。マニュアルもよく整備されて活用されている。教育機関との情報交換も適宜行われている。</p>		

### II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など、利用者の安全確保のための体制が整備されている。	㊟・b・c
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> 緊急時のマニュアルは、「感染症対応マニュアル」「食中毒対策マニュアル」「給食衛生管理マニュアル」「事故処理マニュアル」「不審者侵入時対応マニュアル」「119番通報要領」などよく作成されている。今後は「具体的な事例に即した組織的内容検討」を行ない、必ず検討結果を「記録」することが望まれる。</p> <p>気になる出来事は事故報告書を活用して会議にて検討されているが、報告内容の書き方について「今後に生かさせる報告」になるように更なる検討を期待したい。</p>	

Ⅱ-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-①	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	㊟・b・c
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	㊟・b・c
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> 地域との交流は「夏まつり」「田植え」「収穫祭」高齢者を招いての「敬老交流会」など積極的に行われている。また地域との交流は、地域の方々のボランティア活動受け入れを基本姿勢として行われ、まさに地域に根づいた保育所として機能している。そのためボランティア関係の人との関係も良好である。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	㊟・b・c
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> マニュアル「地域の機関との連携《連絡先一覧》」が作成され、「対応・通報・援助」の方法も整備されている。いつでも関係機関に連絡出来る体制が整えられている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	㊟・b・c
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> 地域との交流で、特に地域に受け入れられているのは「夏まつり」と「収穫祭」であるが、これらは単なる保育園主導の「ボランティア受け入れ」や「交流」ではなく、地域住民が参画しての企画立案、実行となっている。つまり保育園の祭り（行事）が、地域住民にとって喜びであり、地域のニーズである。それを保育園が的確にとらえ、住民の意向を受容している。それが保育に活かされている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	◎・b・c
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 「個人情報保護規程」が策定されている。それは職員会議で周知も図られている。</p> <p>今後、公開される園だよりやホームページ掲載は、個人名が出てくるので「同意書」を得てから行なうなどプライバシーに着目した更なる検討を期待したい。</p>	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に務めている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	◎・b・c
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a・◎・c
<p><b>評価概要</b> 保護者には入園式等で保育説明も行っている。それとは別に個別面談を行い、保育への意向も聞き取られているが、該当する書面記載が見当たらない。指導計画に反映されているので、それを知ることができるが、今後は面談内容の記録保存と、それを保育方針や保育マニュアル等へ反映した記載など、更なる整備を期待したい。</p>	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	◎・b・c
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	◎・b・c
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	◎・b・c
<p><b>評価概要</b> 「苦情対応マニュアル」が作成され、掲示物や定期広報で相談や意見を受けの窓口がつねに開かれていることが明示され、保護者面談も実施されていて、苦情・相談体制・仕組みは整えられている。事故等も行政に報告するようになっていて、その記録もなされている。</p> <p>今後は更に、アンケート結果を踏まえ、苦情解決制度が保護者によく周知されるような仕組み作りを期待したい。</p>	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a・㊟・c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	㊟・b・c
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> 職員会議や保育会議にて十分検討はなされているが、その会議録には、話し合いの過程が十分に記録されていない。</p> <p>今後は会議にて討議分析した内容を記録し、保育内容の更なる充実に向けた取り組みを期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	㊟・b・c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㊟・c
<p><b>評価概要</b> 標準的な実施方法は「保育マニュアル」として文書化している。保護者との個別面談を実施され、園児の状況や保護者意向を聞き取られているので、それを職員間で討議記録して指導計画に反映させるなど、更なる書面整備を期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	㊟・b・c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㊟・b・c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	㊟・b・c
<p><b>評価概要</b> 入園時にしっかりと詳細なアセスメント様式にて保護者面談が行われている。また保育会議にて個別園児の状況について職員が共通理解もしている。</p> <p>今後、個別園児の否定的課題だけでなく、肯定的課題（その園児の良さを伸ばす事等）をみつけて対応を協議し、「計画、実施そして評価」を行うシステムの再確認が望まれる。</p>		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	㊟・b・c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	㊟・b・c
<p>評価概要 必要な情報は地域への広報や、市役所へパンフレットを置くなど適切に行われている。入園にあたっては、個別面談を行い保育説明もなされ同意を得ている。</p>		
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・㊟・c
<p>評価概要 連絡帳の記載内容を踏まえ個別的対応されているが、今後は相談窓口等を置き、その具体的な内容掲載も行い、サービスの継続性につなげることが望まれる。</p>		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	㊟・b・c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	㊟・b・c
<p>評価概要 保護者との個別面談を行い、しっかり聞き取りが出来ている。入園前の状況も母子手帳等を確認して把握に努めている。</p>		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	㊟・b・c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・㊟・c
<p>評価概要 職員会議においてなされているが、多岐に渡る議題を話し合う職員会議では、十分な検討は困難である。それゆえ組織分掌図に基づく専門部署における計画見直しの検討会議が十分に機能することが望まれる。</p>		